

ぬうの日常。2

～ぬうトピア。TOPページ写真集～



作：せい。

まえがき。

はじめまして、もしくはお久しぶりです。

せい。と申します。

この写真集は、作者が運営する個人サイト「ぬうトピア」に掲載している作品の総集編・第2弾になります。

特に続きものではないので、一冊目を読んでいない方でも楽しんでいただけたらと思います。

もしこれを見て気に入ってくださったら、ぜひ一冊目も読んでみてくださいね！

ぬうトピアは、トップページで作者の日常や旅行の様子を紹介していくことを目的に始めたサイトです。

他にも作品紹介や自己紹介など雑多なものも隠れていますが、基本はトップ写真だけで楽しんでいただけるサイトになっています。

「ぬう」は、ぬうトピアサイト上での作者のHN（ハンドルネーム）で、写真にちょいちょい出てくる変な生き物。

ネット上の作者の分身のような存在です。

合成ですし、大して可愛くありませんが、温かい目で見守ってやってください。

今回は、前巻の続きにあたる10タイトルを収録。

ほとんど旅行に行った時の思い出の写真がメインとなっております。あと、ちょっとした日常のネタも。

もし、この写真集を読んで、もっと別のネタが見たいと思ってくださった方がいらっしゃいましたら、

ぬうトピアサイト <http://www17.plala.or.jp/nootopia/nootopia-home.htm>

下部の過去トップのリンクからご覧ください。

天橋立。



動く橋！ 船が通ると回転しやす@
わさとり残されてる人も、ハズレけどいっぱいやってみたいな。



京都の海。何やら鳥のようなものが…



リフトで展望台へGO！



家族旅行で天橋立へ行ってきました。日帰りね。

京都の日本海側へは、子どもの頃からよく家族で行ってありました。

海水浴とか。天橋立も4、5回目。

宝塚ファ○リーランドの次くらいによく遊びに行っていたスポットです（懐
高速使わなくても2時間くらいだし、抜け道や田舎道も多いので、行きやすいんですね。

天橋立の松林を歩いたり、折り返しに船に乗ったり。

リフトにもロープウェイにも乗りました。

たいてい夏に行くので、リフトのほうが気持ちいいかな。

冬には白鳥とかやってくるそうなので、一度冬にも行ってみたいですねえ。

でも寒そうだ（凍

展望台からの眺めは絶景。

日本三大風景の名は伊達ではありませぬ。

天橋立とは、後ろ向いて股の間からみると、空に橋がかかっているように見えるからついた名前
。

うちの親父曰く

「全然そんな感じじゃない」

昔の人は感性豊かだったんでしょう...

出雲大社。



因幡の白ウサギ。有名なお話ですよねぇ。



出雲創世。だと思ふ。何か神々しい。



神様の通り道？ でも人も歩いてんだよね〜汗



バスツアーで旅行に行ったときのおもひです。
初めての島根。初めての神様のお住まい。
本殿は工事中でしたが...。
おみくじの結果は散々でしたが...。
まあ、お参りできて心もリフレッシュ？

人も多く、雪も積もって。
寒いような暖かいような。
昔の本殿の柱跡というのも見ました！
めっちゃでかかったらしいっすね!!
本物を一度でも拝んでみたかったわいな。
しめ縄のねじれもほかの神社とは逆なんだとか。
いろんな神話もあって土産にも事欠きません。
いいとこでしたよ～



手入れの行き届いた素敵なお庭。



池には立派な鯉！



絶景かな。しい眺めです～



島根・鳥取旅行。

二日目最初は足立美術館へ。

足立美術館といえば綺麗なお庭！

ほとんど窓ガラス越しに見たんですが、本当に綺麗でした。

白い砂利と巨岩のバランスがいいね～

あくまで美術館なんで、ちゃんと絵とかも飾ってあります。

主に有名なのが横山大観。魯山人の器とかもありました。

ぬうが初めて見て気に入ったのは榊原紫峰の絵。

鳥がとっても繊細で綺麗で美しく可愛い。

なんかグッズあったら欲しかったんだけど。

大観の絵のものしかない。何たるひいき。





冬牡丹？ 屋根が可愛い。足立に負けない立派な庭！ これは一体？ 次回へ続く！

島根・鳥取旅行。

足立美術館を出た後は、バスで陸続きの島へ。

大根島なる島へ行きました。

大根島なのに名産は高麗人参。

まあ、どっちも根菜ですけど。

到着したのは由志園なる庭園。

牡丹が有名なところとかで。

足立に負けず劣らず、綺麗に整備された庭や滝など、情緒溢れる景色を堪能しました。

名産・高麗人参の成分をふんだんに使った固形石鹸（2個で1000円）も、半ば押し売りに負けた形で購入。乾燥肌や痒みに効果があるとかで、まあ使えるかなと。

行ったときには、明らかに場違いな、ショッキングピンクの謎の物体があちらこちらに。

その正体は？

次回、ご紹介させていただきます。



お花は綺麗。



お花は綺麗だけど。



時々よく分からんものが。



ピンクの物体の正体は、展覧会の一部。だと思います。ショッキングピンクやしなあ。園の常備品とは違うでしょうね.....。

実は、園内の一角で、假屋崎省吾さんのお花展覧会をしておりました。

追加料金払って、いざ中へ。

主にボタンとかの生け花レイアウトです。

土地柄からインスピレーションを得たのか、注文があったのか。

分かりませんが、ヤマタノオロチなんか天井から吊るされて迫力ありましたね～

生け花と一緒に着物が吊るしてあったり、

蜂の巣みたいなのが至る所に飾られていて、一番気になりましたねえ。

鳥取砂丘！



待って～ぬも行く～!!



取り乱しすぎ。雪でも見て頭を冷やませう。



ラクダに乗れるってさ！ 乗らなくてもいいから見たい♪



砂じゃー！！

イエアー！！

ぬう砂大好き！ 砂漠好きー！

エジプト行きたいー！

悪魔の実。食えるならスナスナの実が食いたいです！

はああ。テンション上がりすぎて取り乱しました。すいませぬう。

実際はこんなにはしゃいでませんよ。友人も一緒だったし、しっとり観光。

でも一人だったらこうなってたかもしれないね（笑

ここは砂漠。ではないです。

日本最大の砂丘、鳥取砂丘！

島根・鳥取旅行の締めくくりはここです！ ぜひぜひ行ってみたかったのー。

広ーい！ 砂いっぱーい！

冬だったので水が凍ってたり雪が積もってました。風も強い。

海岸の砂には塩分があるので雪が積もらないと言いますが。

この辺は塩分ないんでしょうか？

もっと向こうまで歩いていけば海が見えるはず。

夏にも来て見たーいなー♪

前にテレビで紹介していた、砂を固めて作ったモアイ像。

買いました～☆

またぜひ来てみたいです！ 砂の美術館も見てみたいんすよ！

クックぬう。 その1



1枚目は必ず生焼け。



2枚目は必ず焦げる。



3枚目はやっとかま。皿からはみ出ている感じ。



粉は箸で混ぜる。
泡だて器？
そんなイカライなもん
うちにはありません！

ぬうの自炊頻度はかなり低いです。

仕事の日も休みの日も、基本はインスタントとか、前日の残り物。

不健康な生活を送っております。

色々作ってみたいと思うんだけど、時間とやる気がね。

でも時々、無性に何だか創作意欲がわいてきて、

ちょっとした料理を作りたくなります。

今回作りますのはパンケーキ。

パンケーキって最近の言葉なのか？

昔はホットケーキと呼んでいたような。

クリームがいっぱいあった、人気店のメニューとかがテレビで紹介されていると、ちょっと食べたくなります。

んでまあ、作り方も調べると簡単だということで、いざ粉を買って作ってみる。

一袋の粉で3枚焼けるというものを購入。

さっそく水やら卵や混ぜ混ぜして、袋の裏の作り方に沿って焼かせよう。

最初はフライパンが温まりきってなくて、そして早く焼きたいじれったさから、たいてい生焼けが出来上がります。

ちょっと火加減が弱いかなと、火力を強くして焼くので、たいてい2枚目は焦げます。

先の2枚の反省を踏まえるとともに、火加減も程よくなって、3枚目のは一番うまく焼きあがるのです。

ぬうのパンケーキは何度作ってもそのサイクルさ。

まあ多少生でもこげでも、おいしくいただけます。

味付けも色々試しました。生クリーム、チーズ、ジャム、チョコフォンデュ。

でも一番おいしいと感じたのは、

マーガリンやね。

もう食パンでよくなくね？

ユスラウメの木。



春の開花。



青葉が残って——



果実がたわね。



家の裏に聳える石垣。

積み上げられた石の隙間から、一本の木が生えております。

ユスラウメの木。

子供の頃はずっとグミの木だと思っていましたが、実はユスラウメ。

赤くて小さい、酸っぱい実がつきます。

春には桜みたいなお花も満開に。

今回は幼い頃から親しんできたユスラウメ（特に見向きもしなかったとも言う（汗））。

一年の営みを写真に収めてみました。

花が咲いて青葉が広がり、可愛い実がつくまでの様子を追いかけました。

いかがでしょうか？

モンゴル恐竜展。その1



2013年5月ごろ。

大阪市立自然史博物館に行ってまいりました。

特別展「発掘！モンゴル恐竜化石展」を見てきたのです～♪

妹が「暇やから大阪出て来い」とかほざくもので。

おっしや、だったら付き合えと、引っ張りまわしてやりました（笑

恐竜の化石と聞くと、アメリカ大陸が有名な気がして、最初にイメージが浮かぶのですが。

発掘されている骨の量を見ると、アジア大陸もかなり多いみたいですね。

特にモンゴルのゴビ砂漠。

珍しくて貴重な化石がたくさん見つまっているらしいです。

モンゴルはぬうが行ってみたい国ベスト10に入る国。

ますます行ってみたくなりました♪

ゴビ砂漠で発掘された化石の一部が、日本に上陸！

大きいものはレプリカもあったようですが。

迫力は満点！

お値段のわりに展示品が少なかった気がするのは、やっぱり骨だから体積が少ないせいかな……。ってことにしておこうか。

平日で人も少なかつたし、古代の世界に浸って、気分転換してまいりました。

モンゴル恐竜展。その2



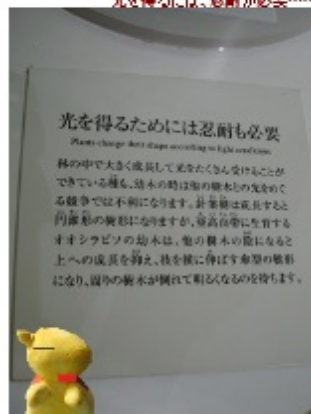
博物館の入り口にある、骨です。



展示の中、迫力ある骨列。



光を得るには、忍耐が必要……



博物館には常設展示の作品もたくさんあります。

それも一緒に見てきました。

レプリカですけど、大きくて圧巻な生物の骨がいろいろ。

マンモスとかティラノとか、お決まりメンバーですが、一同に集合している姿を見上げていると、自分がちっぽけな存在に感じられますね。

里山の自然について、子供とかが学習できるコーナーも。

そこにいいことが書いてあったので、思わず写真をパチリ。

「光を得るためには忍耐も必要」

植物に関するの説明文ですが、人間にだって充分通用する言葉ですよ。

忍耐が必要。忍耐。どれだけ耐えれば、光を得られるのか。

長い長い時間が、必要なのでしょうか。

あとかぎ。

最後までお読みいただき、ありがとうございました！

ぬうの日常。2～ぬうトピア。TOPページ写真集～

作：せい。

発行：2017年6月

値段：無料

作者サイト ぬうトピア。

<http://www17.plala.or.jp/nootopia/nootopia-home.htm>

当作品の複製・無断転載はお断りします。

ぬうの日常。～ぬうトピア。TOPページ写真集～

<http://p.booklog.jp/book/114080>

電子書籍で公開中！